



## 「コロナ感染症から学ぶこと ～負の遺産にしないために～」



院長 五月女 隆男

2023年度（令和5年度）がスタートしました。5月8日には新型コロナウイルス感染症も2類相当から5類への引き下げが決定し、先行して実施されているマスク着用の規制撤廃もふくめて、みなさまにおかれましては少しほっとされていることと思います。しかし現実的にはその余波を実感するばかりで、新型コロナウイルスの再燃・再興が懸念されております。もとよりこの感染症を根絶することは困難なことから、高齢者等への感染予防に努めながら日常生活を送っていただくことが重要であり、行動制限が全くないということではありません。

当院の新型コロナウイルス感染症へのかかわりもこの3年間でずいぶん変わってまいりました。地域PCRセンターの設置（2022年12月で業務終了）、コロナワクチン接種センターの設置（2023年5月に再開予定）、発熱外来の設置（稼働中）、コロナ患者さんの隔離病棟の設置（4床、現在も稼働中）、コロナ高齢者等宿泊療養施設の開設（2022年12月、16床稼働中）、コロナ安心ケアステーションの開設（2023年4月5日開設、20床）など、その時々ニーズにこたえる形での運用を行ってまいりました。そんな中でいくつか今後問題となるであろう事項について紹介しておきます。発熱外来等でのコロナの診断・治療に関して検査・診断は保険診療となり、治療は公費負担となります。入院においても入院費等は最大2万円の補助はありますが、コロナの治療薬以外は保険診療となるなど、これまでとは変わりますので注意が必要です。個人負担が増えることによる診療控えが起こることが最も懸念される事象であり、病院サイドだけでなく患者さんサイドも十分に理解しておかれることが大切です。

これまでの感染症と人類のかかわりを顧みると、時間経過とともに感染力は強まりますが、侵襲性・病原性は弱まるという歴史を繰り返しています。すなわちウイルスは自身が生き残るために弱毒化していきホスト（感染者）の生命を奪うことがなくなっていくのです。新型コロナウイルス感染症が一般の風邪と同等に扱われる日が遠くないかもしれません。若年・健常者にはちょっとした風邪であっても基礎疾患を有する高齢者には相当こたえることがあるのは容易に想像できます。社会の一員として高齢者などへの配慮が必要なことは言うまでもありません。

感染者のピーク時に救急搬送に時間を要したり、手術が簡単に実施できなかつたりといった報道をよく耳にしました。当医療圏でもそのような困った事象が起きていたことも事実です。新型コロナウイルス感染患者さんの入院先は滋賀県コントロールセンターで一括して入院調整がされましたが、非感染者の入院先は各病院が独自に行うものであり、コロナ患者さんのベッド確保のために少ない病床数での対応となったため、入院先の調整に長時間を要した事例が多数ありました。現在、病院協会では地域性を重視したネットワーク作りを模索しております。人類として新型コロナウイルス感染症で得た弱点を見つめなおし、災害医療等へも通じる地域医療ネットワークの構築をすることで新型コロナウイルス感染症を負の遺産としないことを願っています。

# 医師紹介

## 糖尿病内科・内分泌内科

### 伊藤 哲郎 (いとう てつろう)



【経歴】平成31年 滋賀医科大学医学部 卒業

【専門分野】総合診療・家庭医療

【所属学会】プライマリ・ケア連合学会、日本内科学会

皆様初めまして。今年度4月より内科医師として赴任致しました伊藤 哲郎 (いとう てつろう) と申します。大阪府生まれ、兵庫県神戸市で育ち、現在実家は静岡県浜松市にありますが、縁あって3年前より近江八幡市で暮らしております、4児の父です。医師になる前は某総合建設会社にて大小様々な建物の設計・施工に携わりました。今でもものづくりは大好きです。

専門外来は糖尿病・内分泌内科外来を担当させていただきますが、私の本来の専門分野であるプライマリ・ケア(総合診療・家庭医療)についてはまだ耳慣れない方々もいらっしゃるかもしれません。老若男女の病気の相談・治療はもとより、普段の予防・健康増進まで幅広く対応する医師として2018年の新専門医制度より、これからの地域医療を支える新しい専門医資格として追加されました。その看板に恥じない働きができるよう日々研鑽しております。

一人一人が自分らしく生きられるお手伝いをすることで、この地域の健康を皆様と創り上げることに微力ながら貢献できれば幸いです。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

## シリーズ「健康寿命を伸ばそう！」

看護師 谷底 弥生

シリーズ2回目となる今回は**生活習慣病を知り、予防することが大切**ということをお伝えします。

生活習慣病とは『食生活・運動習慣・休養・喫煙・飲酒等、その人の生活習慣が発症原因に深く関与していると考えられている疾患の総称』のことを言います。

身近に起こりうるものとして、糖尿病・脂質異常症・高血圧・動脈硬化などがあります。日頃の診察や健康診断で、いずれかの疾患を指摘されて、内服治療している方もいらっしゃるのではないのでしょうか？これらの疾患は、特に初期では、ほとんど自覚がなく、ことの重大さに気付くのは、状態が悪化したのちに致命的な合併症を引き起こしてから、というケースがとても多いのです。日頃の生活習慣の積み重ねが『がん・心疾患・脳血管疾患』という3大死因の大きなリスクとなっていきます。

特に症状がない今から、ご自身の生活習慣を見直し改善することで、多くの病気を防ぐことができ、健康寿命を伸ばすことに繋がります。

### 生活習慣病って？

代表的な3つ・・・悪性新生物 心臓病 脳血管障害

ほかにも…

高血圧症 脂質異常症 糖尿病 肥満 動脈硬化 慢性閉塞性肺疾患 痛風 など

### 大きく関与！！

食事



喫煙



飲酒



運動



休養



昨年11月に病院を新築移転し、新しい環境の中で半年が経過しました。患者様の利便性の向上を図っておりますが、まだ不十分な点があるかと思えます。その都度ご指摘願ひ、改善できる点は改良し、さらに良い病院にしていきたいと思います。また個々の病院単位の目標や構想はもちろんのこと、現在の病院機能は地域医療構想のなかのひとつの歯車として機能していくことが求められております。当医療圏は東近江市および近江八幡市で構成されており、圏域内の病院間調整もふくめ病院同士が機能を補完しあう関係性を構築してきております。当院の特徴やストロングポイントを生かしながらますます地域医療への貢献をしていきたいと考えております。

診療面においては、今年度より泌尿器科外来を週1回水曜日に新設しました。滋賀医科大学泌尿器科学講座より医師派遣いただいておりますので、排尿障害などの診療希望の患者様はご利用下さい。また訪問診療も拡充していく予定です。厚労省の指針でも外来・入院診療だけでなく、在宅医療の推進がなされております。在宅・訪問診療のことをお気軽に尋ねていただければ丁寧に対応させていただきます。

### ◆ 出前講座のご案内

地域の皆様の交流と健康づくりのお手伝いの一環として、当院医療スタッフが地域に出向き、医療や健康に役立つ専門的知識・技術などをご紹介します。ぜひご利用ください。

(対象) 近江八幡市内の地域住民による団体・グループ、学校など (10人以上)

(費用) 無料です

(開催日時) 日、祝日を除く、9時から17時まで

(申し込み方法) 電話により希望日の2か月前までにご相談下さい

【お問い合わせ】 ヴォーリス記念病院 企画渉外課  
TEL : 080-9590-5725(直通)



### 病院からの お知らせ

## ◆ メディカルフィットネスセンターヴォーリスは引っ越しいたしました！ (旧リハビリテーション科の場所に移動しました)

新天地は  
メレル館 3階  
(旧 東館)  
ココです

**4月3日(月)より  
新装営業開始**



西の湖方面の四季の風景をのぞみ  
陽光がたっぷりと降りそそぐロケーション

#### <営業時間>

|                 | 月                | 火       | 水 | 木                | 金       | 土   | 日   |
|-----------------|------------------|---------|---|------------------|---------|-----|-----|
| 9:30~<br>12:00  | ○<br>11:30<br>まで | 市<br>委託 | ○ | ○<br>11:30<br>まで | 市<br>委託 | --- | --- |
| 13:30~<br>17:00 | ○                | ○       | ○ | ○                | ○       | --- | --- |
| 17:00~<br>19:00 |                  | ○       |   |                  | ○       | --- | --- |

○の時間帯にご利用いただけます

<利用料金> 7,200円/月



↑Facebookで  
最新情報発信中です



〒523-0805 滋賀県近江八幡市円山町927-1

電話 : 0570-01-5211

FAX : 0748-32-2152 (代表)

\*シャトルバス(無料送迎)あります。

#### ● 編集後記 ●

春の柔らかな陽ざしの中、いたる所で満開の桜を見かけました。華麗に咲き誇り、潔く散りゆく様は、優しさの中に強さを感じられ、心に深い感動を与えてくれます。新入職員の皆様の、キラキラと初々しい様子には心洗われる日々です。



# ヴォーリスだより



- 特集 -  
2023年度 入社式

## 巻頭言

「コロナ感染症から学ぶこと  
～負の遺産にしないために～」

公益財団法人 近江兄弟社  
ヴォーリス記念病院  
院長 五月女 隆男



Vol. 162

2023年5月発行

## 基本理念

キリスト教の「隣人愛」と「奉仕」の業を、医療を通して実践します。

— 私たちは、基本理念を大切にします。 —

# 特集

## 2023年度 入社式

4月3日（月）

入社式、就任式、新年度礼拝

桜満開の中、2023年度の入社式が当院チャペルにて執り行われました。新病院移転後初の新入職21名、昨年よりの中途入職27名の総勢48名の皆さんを共に働く仲間として迎え入れることができました。

最初に、中村チャプレン司式のもと、誓約式に臨んだ後、公益財団法人近江兄弟社の三ツ浪 健一理事長、五月女 隆男院長より歓迎と奨励の言葉を頂きました。

その後、新入職員を代表し、理学療法士 板垣 敬仁さんより挨拶をして頂きました。

新しい仲間と共に、職員一同、知識と技術の習得に努め、地域医療のさらなる発展に貢献できるよう、精進していきたいと思えます。

三ツ浪理事長



近江兄弟社グループ全体の入社式を終え、新入社員の多さに驚き、グループの一員であることを再確認しました。今後、グループの一員として、ヴォーリスさんの精神である隣人愛の気持ちを忘れず、奉仕の心をもち日々成長していきたいと思えます。

看護師 門脇 咲華

# ご入職おめでとうございます！



五月女院長



新しい仲間と出会いヴォーリス記念病院の一員となれることを嬉しく思うとともに、いよいよだと自覚し気が引き締まりました。多くの方の笑顔がみられるよう思いやりを大切に、向上心を忘れず精一杯努めてまいります。

理学療法士 島田 理帆



# 「総合診療科」のご紹介

循環器科 医師 三ツ浪 健一

総合診療科は、どの科にかかればよいのかわからないときに受診していただく診療科です。どんな症状でもかかっていたることができます。健康に関して不安に思うこと、疑問に思うこと、納得できないことなど、心や魂の領域の悩みについても、相談していただくことができます。全身のいろいろな病気がないかを考えながら、検査を行い、治療します。必要に応じて、適切な専門診療科へ紹介することもあります。どうぞ、お気軽に受診して下さい。

高齢になると複数の病気にかかることも多く、それぞれの専門医に診てもらおうとすると、あちこちの医療機関や診療科を受診しなければならなくなりますが、そのような時、症状が安定していれば、それらの専門医と適切に連絡をとりながら、総合診療科でまとめて診療することも可能です。これにより受診時間を減らすことができますので、それぞれの専門医の紹介状をもってご来院ください。紹介状をもらいにくい場合には、「お薬手帳」をお持ちいただければ問題ありません。いずれの場合も、症状が変化した時には、必要に応じて、もとの専門医と相談しながら診療致します。



## 就労移行支援事業所ワークステーションヴォーリス開設

診療技術部 部長 酒井 英志

### ～あなたの働きたいという思いを応援する場所～

2023年4月にメレル館3階（旧リハビリテーションセンター）に就労移行支援事業所を開設しました。就労移行支援とは、障害者総合支援法に定められた障がい福祉サービスのひとつです。障がいを抱えた方で、一般企業に雇用されることが可能と見込まれる方に対して、知識・能力を養い、本人の適性に見合った職場への就労を目指すものです。対象は65歳未満で、期間は原則として2年間となります。就職までの道のりは人それぞれです。ワークステーションでは、自分自身を知ること、他者を知ることが大切です。職業技術だけでなく、コミュニケーション能力を高め、働き続けることを目標とし、就職した後も定着するまでサポート致します。

ワークステーションヴォーリスは、『あなたにあった働き方を一緒に考え、あなたの働きたいという思いを応援する場所』です。一般就労を目指す利用者さんの募集を行っておりますので、利用をご検討中の方は、お気軽に下記にお問い合わせください。

【お問合せ先】〒523-0806 滋賀県近江八幡市北之庄町492 メレル館（旧東館）3階  
(TEL) 0748-33-7720 / (FAX) 0748-33-7700



# 令和4年度 里モニター会開催！

地域療養支援部 次長 加藤 和幸

令和5年3月4日14時30分より、新病院チャペルにて「令和4年度里モニター会」を開催させて頂きました。コロナの影響により、開催は3年ぶりとなります。

8名の里モニターにご出席頂き、澤谷事務長による新病院のコンセプト説明、病院見学を行いました。その後、座談会にて意見交換を行いました。座談会では、モニター様より、新病院の建築物としての素晴らしさ、またヴォーリズの「里」職員に対しても、ヴォーリズのマインドを感じられる、と称賛頂きました。職員に対しての評価が高かったことが何より素晴らしく、うれしく感じました。

2時間余りでしたが、里モニター様と久々にお会いすることができ、有意義な時間を過ごすことができました。書面ではございますが、改めてお礼申し上げたいと存じます。

病院移転から半年が過ぎようとしております。様々な変化を感じる日々ではございますが、今年度も里モニター会を開催し、モニター様と共に、ヴォーリズの創立理念を受け継ぎ、今後もよりニーズに寄り添えるようにしていきたいと思っております。



管理栄養士ようちゃん  
おススメ！

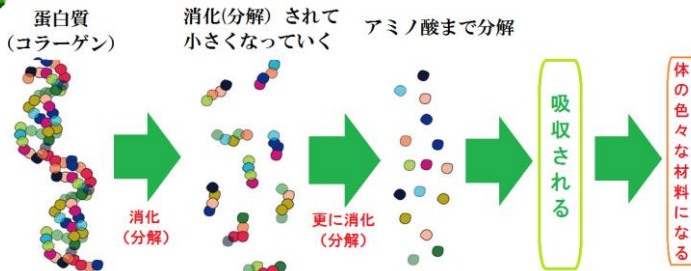
## 美肌の友「コラーゲン」は食べるの？塗るの？

昔から「肌に良い」成分と言えば「コラーゲン」。魚や肉のスープや煮物などで「コラーゲンたっぷり」で美肌効果抜群！！なんて言葉よく聞きますね。化粧品などにも良く利用されており、肌がプルプルになるようなイメージが強いです。今回はコラーゲンについて紹介しましょう。

### そもそもコラーゲンってなに??

たんぱく質の一つで細胞同士を結びつける物質の主成分です。皮膚組織で細胞と細胞をつないでいるため、肌の弾力や張りに関わります。

### コラーゲンを「食べる」とはどういうことか？



コラーゲンなどの蛋白質は体内で消化されてアミノ酸まで分解されてから体の色々な材料に合成されます。つまり…

**コラーゲンを摂っても必ずコラーゲンになる事は無く、合成されても肌に集中することはありません。**

### もしかして…塗る方が良い？

人がコラーゲンを吸収するには消化が必須です。そのまま肌から吸収することはできません。**化粧品にコラーゲンを配合する目的は「保湿」**です。「食べるコラーゲン」と「塗るコラーゲン」は目的が違います。

### じゃあ、肌の健康には食事はどうしたらいいの？

コラーゲンに限らず、他のたんぱく質も十分に摂って、コラーゲンの生成に欠かせない**ビタミンCも一緒に摂るとよい**でしょう。また、**特定の食品や成分だけに偏らず、色々な食品をバランス良く食事を摂る事**が大切です。

#### 主菜

主に魚、肉、たまご、乳製品、豆腐など、タンパク質やカルシウムを十分にとりましょう。脂肪は控えめに

#### 副菜

野菜を中心にビタミン、ミネラル、食物繊維を十分にとりましょう。



米・パン・めん類などの穀類で、糖質からのエネルギーをとりましょう。

#### 主食

野菜や海藻をたくさん使って第二の副菜的役割に

#### 汁物

## チャプレンだより②④

### 「死の陰の谷を行くときも」

チャプレン 中村信雄

今年度のヴォーリズ記念病院の年間聖句は、旧約聖書に記されている、「主は私の羊飼いです。私は乏しいことがない。」(詩編23:1)と致しました。

神様は羊飼いです、私たち一人一人は神様に導かれる羊です。私たちが疲れたときには緑の野に伏させて休ませてくださり、水のほとりで憩いの時を与えてくれます。

しかし誰の人生にも死の陰の谷を行くときがあります。死の陰の谷とは、光が射さない深い谷のことです。草木も育たない淋しい場所、岩壁がいつ崩れてもおかしくない危険な場所です。足がすくんで自分ではとても歩けません。

その一番つらいときに神様はあなたを胸に抱え、暗闇の谷間を通過してくださるのです。あなたが大切だからです。そのときに気付きます。神の愛のぬくもりを。

疲れた私たちを緑の牧場へと導き、苦難のときには胸に抱えてくださる。その神様の思いを忘れずにいたいと思います。



## 部署紹介

### 健診センター

センター長 小松 知史

令和5年4月1日の組織改編により、『医事課健診室』から独立し、新たに『健診センター』と名称を変更することになりました。現在、男性1名、女性4名の合計5名で運営を行っております。

症状がない時、病院へはつい足が遠くなってしまいます。しかし、症状のない病気も少なくなく、気が付いた時には病状が進行していたという例もあります。多くの病気は、発見が早ければ早いほど、治る確率が高くなります。健診（人間ドック）とは、早期の段階で体の異常を見つけるためのものです。体の現状を把握し、健やかに過ごす為、定期的に健診を受けることが大切です。

これからも多くの方にご利用いただけるよう、新しいメニューも追加していく予定です。健康を守るサポーターとして、皆様のお越しをスタッフ共々お待ちしております。



#### 【お申込み・お問合せ】

◆ 健康診断・人間ドックは完全予約制です。 ◆

(TEL) 0748-36-5467

(FAX) 0748-36-5477

(メール) [v-kenshin@vories.or.jp](mailto:v-kenshin@vories.or.jp)

(受付時間) 13:00~17:00 (月~土)



申込用紙は、当院HPからダウンロードできます。